

**授業概要**

社会政策とは、私たちの暮らしと大きくかかわる重要な政府の政策です。ひろがる格差を緩和し、労働環境を整え、民主主義を実践するために国民に必要な政策でもあります。この講義では前半で、そのような社会政策の歴史的背景を学び、社会政策が具体的にどのような影響を私たちに与えてきたのかを理解します。後半では日本の雇用政策や社会保障制度の概要を欧米諸国との比較をしながら学びます。グローバリズムによって日本型雇用慣行の特徴だった企業内福祉が大きく変化した今、社会政策は国民の福祉を大きく左右するようになりました。本講義は身近なことから理解を深める社会政策論の入門編になります。

**授業計画**

第1回	私たちの暮らしと社会政策(ガイダンス)
第2回	社会政策史(救貧法から福祉政策)
第3回	社会政策史(ゆりかごから墓場)
第4回	福祉国家とは何か
第5回	フォーティズムとテイラー・システム
第6回	日本における雇用と労働政策—賃金・労働時間
第7回	日本における雇用と労働政策—雇用・失業
第8回	日本における雇用と労働政策—労使関係
第9回	日本における雇用と労働政策—高齢社会
第10回	日本における社会保障制度
第11回	医療保険制度(欧米諸国)
第12回	男女平等—雇用
第13回	こどもの貧困—貧困と女性
第14回	ワーク・ライフ・バランス
第15回	総括
第16回	試験

**到達目標**

雇用政策、社会保障政策といった社会政策の意義を理解し、歴史的経緯を理解したうえで、我々の身近な暮らしのセイフティー・ネットとしての重要性を理解すること。貧困について様々な形態があることを理解する。

**履修上の注意**

必要と思われるときに確認ペーパーを実施します。  
授業ノートの取り方を最初に説明します。

**予習復習**

授業ノートを参考にして復習してください。

**評価方法**

確認ペーパー(20%)と期末試験(80%)

**テキスト**

テキストは指定しないが資料を配布します。